学校番号	３１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　標準現代の国語　（第一学習社）						
副教材等	漢字検定対応（５～２級）パスワード級別漢字(浜島書店) 漢字反復ノート（浜島書店） テーマ別　現代の国語　ベストクリア１　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ

・社会で必要な基礎的・基本的な国語の知識や技能を育成します。
・様々な文章を「読む」「書く」ことで言語感覚を磨くとともに、論理的に考える力や深く共感する力を身につけます。
・言葉が持つ価値について考え、言葉を通して積極的に他者や社会にかかわろうとする態度を養っていきます。

2　学習の到達目標

・社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)

1学期	内容や構成、論理の展開を的確に捉える。 ［教材］なぜ本を読むのか（又吉直樹）	a:文や文章の中で活用できる語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 c:本文の構成と論理の展開を捉え、工夫して説明しようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 事後学習 レポート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出 振り返りシート
	文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ［教材］水の東西（山崎正和）	a:語彙を増やすとともに文章の果的な接続の仕方を理解する。 b[読]:東西の対比関係を用いながら、論じる叙述の方法を把握する。 c:情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、論理の展開を分析しようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 事後学習 レポート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出 振り返りシート
	論理の展開を捉える【対比】 ［教材］「間」の感覚(高階秀爾)	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを捉える。 c:情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 振り返りシート	授業態度 発表報告 学習課題提出 ノート提出
	相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 ［教材］話し方の工夫	a:話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 b[話/聞]:相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 c:積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	定期考査 発問評価	授業態度 発問評価	授業態度 発表報告 課題提出
2学期	文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ［教材］人はなぜ仕事をするのか(内田樹)	a:主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を読み取る。 b[読]:クロマニョン人とネアンデルタール人の特徴の比較から、「なぜ仕事をするのか」という問いについての考えを理解する。 c:主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 事後学習 レポート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出 振り返りシート
	個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、要旨を把握する。 ［教材］言葉遣いとアイデンティティ(中村桃子)	a:主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]:「言葉」によるアイデンティティ形成の経緯を理解する。 c:現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 事後学習 レポート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出 振り返りシート
	主人公の体験を読み取り、自分の意見や考えを論述する。 ［教材］黄色い花束(黒柳徹子)	a:自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 b[話/聞]:自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 c:粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、考えが伝わるように工夫してまとめようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 事後学習 レポート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出 振り返りシート

	相手や場に応じた表現が選択できる。 ［教材］待遇表現	a:敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 b[　話/聞　]:敬語表現が選択される視点を理解する。 c:積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	定期考査 発問評価	授業態度 発問評価	授業態度 発表報告 課題提出
	文章を分析的に読み、事実から情報を抽出し、意見を形成していく論理の展開について理解する。 ［教材］言語としてのピクトグラム(本田弘之)	a:主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]:文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 c:事実と意見を区別して粘り強く評論を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出
3学期	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ［教材］日本語は世界をこのように捉える(小浜逸郎)	a:自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 b[読]:日本語の具体的事例を通じて状況による日本語の使い分けについて理解する。 c:既習の評論とを読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出
	相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ［教材］実用的な手紙文の書き方	a:実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解する。 b[書]:例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、依頼文や案内文を書く。 c:書いた手紙文を進んで批評し合い、それを踏まえて文章の展開や表現を工夫しようとしている。	定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間